

千葉県社保協通信

2022年度—No7 2022年 12月 17日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センタービル3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2022@themis.ocn.ne.jp



大軍拡やめて ケア充実を!! 史上最悪の介護保険改定 STOP!!

介護する人・受ける人
ともに 大切にされる介護保障を

=改悪の中身 知って 知らせて 署名を広げよう=



12日(月)夕刻 JR津田沼駅南口にて
千葉民医連の宣伝署名行動には20人が参加。
1時間で30筆の署名が寄せられた。

—介護保険制度の改善を求める請願項目—

1. 利用料の引き上げ、要介護1・2の生活援助などの保険は
ずし、ケアプランの有料化、貸与の福祉用具を購入に変更
するなどの見直しを行わないこと。
2. 全額公費により、全ての介護従事者の給与を全産業平均
水準まで早急に引き上げること。介護従事者を大幅に増や
し、一人夜勤の解消、人員配置基準の引き上げを行うこと。
3. 利用者が安心して介護を受けることができ、介護事業所・
従事者が不安なく介護を受けられるよう、新型コロナウイルス
感染症対策を強化すること。
4. 介護保険料、利用料、食費・居住費などの負担軽減、介護
報酬の改善など、介護保険制度の抜本的な見直しを行うこ
と。介護保険財政における国庫負担の割合を大幅に引き上
げること。

天海訴訟 第6回口頭弁論 結審 判決は2023年3月24日 障害者の尊厳が守られ、人権が保障される判決を

東京高裁宛 公正な判決を求める
はがき要請を!! 1月末まで

2014年7月、満65歳になった私は社会参加の機会
の確保を目的とする「障害者福祉」と加齢に伴い要介
護状態となった高齢者の日常生活を支援する「介護保
険」には違いがあることや自己負担が生じることで介
護保険申請を断りました。8月から全ての介護サービ
スが打ち切られ、全額自己負担となり、月14万円もの利
用料がかかりました。泣き寝入りはできないと2015
年11月に千葉市を相手に千葉地裁に提訴。地裁は訴え
を棄却。判決は、障害者の生活を顧みず「行政の手続
に協力しない障害者はこのような状況に置かれるのは
当然である」と言わんばかりの内容です。そこで東京
高裁に控訴。障害者権利条約や障害者総合支援法の規
定にあるように、障害者がどこに住み、どんな生活を
送るかは障害者自身が決定すること。要介護認定調査
への申請をしないことを理由に、介護保険の対象にな
った障害者の福祉サービスをすべて打ち切ってよいの
か自治体が障害者の生存権保障を放棄してよいのかと
いうことです。障害者が自立した社会参加を望むので

あれば、障害福祉サービスの給付を継続すべきで、6
5歳になったからといって、障害者福祉給付を打ち切
ることは許されないことです。本日12月9日は197
5年に国連総会で障害者権利宣言が採択された日であ
り、障害者の日。東京高裁では障害者権利条約や障害
者総合支援法の理念に沿った判断をしていただき、人
権が保障されるような判決を下さるよう心から期待
しております。 (原告 天海正克氏 陳述要旨)

東京高裁前にて。
支援者の前で訴える天海さん

